

陶芸に挑戦!



朝日 ともみさん

とても楽しかったです

私は多治見市出身ですが、東明小に通う娘が授業で焼きものを作ってきて、可児は焼きものが盛んであることを知りました。

私自身も何年か前からろくろを使った陶芸に挑戦したいという思いがあり、陶芸苑で行われている美濃焼講座に申し込みました。一人で参加することに不安はありましたが、やってみるととても楽しかったです。講座では自分の好きなものを作ることができ、父の日と母の日のプレゼントに夫婦湯飲みを作りました。初心者の自分がイメージした作品を作れるように、先生が丁寧に教えてくれ、余った粘土でぐい飲みも作ることができました。他の参加者と交流しながら、焼き物の魅力を感じることができました。



焼き上がりはこんなかんじになりました



美濃焼講座

初めての人でもろくろで作陶できます。自分だけのオリジナルの湯飲みやご飯茶碗などを作ってみませんか。今回は、市外の人も参加できます。

- 日時 ○Aコース=7/31(火)、8/2(木)、8/16(木)の午前10時~正午
 ○Bコース=7/31(火)、8/2(木)、8/16(木)の午後1時~3時
 ○Cコース=8/1(水)、8/3(金)、8/17(金)の午後7時~9時

対象者 一般成人

定員 各コース16人(抽選)

受講料 1,500円

共通事項

場所 陶芸苑(郷土歴史館隣)

申込方法 氏名、住所、電話番号を電話、窓口、FAX④0238、✉kyodorekiskan@city.kani.lg.jpのいずれかで申し込む

申込締切 7月3日(火)

問合先 可児郷土歴史館 ☎④0211

親子陶芸教室

日時と内容

- Aコース(たたらで茶碗や皿をつくる)
=7/24(火) 午前10時~正午
- Bコース(たたらで茶碗や皿をつくる)
=7/26(木) 午前10時~正午
- Cコース(ろくろで茶碗や皿をつくる、全2回)
=7/24(火)、7/26(木) 午後1時~3時

対象者 ○A・Bコース = 市内在住の小中学生と保護者
 ○Cコース = 市内在住の小学3年生から中学生と保護者

定員 各コース8組(抽選)

受講料 1,000円

美濃焼ができるまでの一例

① 土練り

柔らかさが均等に、空気が残らないように土を練る。

☆土練りを上手に行わないと、ひび割れなどの原因になります。



② 成形

練った土でろくろや型などを使って形をつくる。

☆器の形を決める重要な作業です。



④ 焼成

釉薬の種類に合わせて温度を調整し、作品を焼き上げる。

☆窯の温度や焼き方によって、焼きものの出来上がりが異なります。



③ 絵付け・釉掛け

成形したものに釉薬を掛けたり、絵を描いたりする。

☆釉薬には種類があり、どの釉薬を使うかで焼き上がりの色が異なります。また釉薬には水漏れ防止や表面をより固いものにする効果があります。



【豆知識】美濃焼と「もぐさ土」

焼きものにとって重要になる要素の1つが、生地に使用する粘土です。可児市、土岐市などで産出する「もぐさ土(もぐさ粘土)」は、美濃焼に最適な土として知られています。

特に、土中から丸い塊となって見つかる「もぐさ土」は珍重され、市内でも時折発見されることがあります。良質な美濃焼には欠かせない材料なのです。

子どものときから美濃焼に触れています

市内の小中学校では、美濃焼に触れる機会があります。可児市が誇る美濃桃山陶の歴史や魅力を学ぶことで、子どもたちにふるさとへの愛着を持ってもらいたいと取り組んでいます。

お茶講習会

美濃焼のお茶碗を使い、お茶を通じて相手を思いやる心を学びます。



☆西可児中学校でのお茶講習会の様子

作陶体験

実際に美濃焼づくりに挑戦し、陶芸の楽しさを知り、焼きものの魅力を知ってもらいます。



☆東明小学校での作陶の様子